

# KiKiの広場

2016年 11月 1日

cafe NO.73  
KiKi



10月に、日本を代表する建築家「**村野藤吾**」が設計した建築の模型展が、この**ヒストリア宇部**で開かれました。ヒストリア宇部を設計した人が有名な建築家で、国の重要文化財である「**渡辺翁記念会館**」や、宇部市には作品が合わせて6施設現存しているということは知っていましたが、今回9日間にわたる展示会に足を運ばれた方の人数の多さに、改めて**村野藤吾**という人のすごさを感じました。全国各地に村野作品は残っていますが、築後100年を迎えた2009年に近代建築物として初めて国宝に指定された「**迎賓館**」の改修も手掛けていると聞いて驚きました。今なお多くの人に愛されている「**村野建築**」、宇部市民として誇りに思うとともに、ヒストリア宇部に関わらなければ、もしかしたらずっと知らないままだったかもしれないと思うと、「知らない」ということは、なんともったいないことなんだと・・・、そして「文化」とはこうして引き継がれていくものなのかなあとつくづく思いました。遅いかもしれませんが、宇部の文化への興味が湧く出来事でした。

## 11月の予定

臨時営業日	6日(日)
休館日	8日(火)
定休日	毎土・日曜日



## 「今日のケーキ」…「黒蜜きなこの

ロールケーキ」350円

黒蜜のスポンジに餡クリームと小豆を巻き、きなこクリームで仕上げました。和の素材をたくみに調和させた和風ロールケーキです。

## 今月のお気に入り…「アンデルセン童話の世界」

～ 「**にんぎょひめ**」「**ナイチンゲール**」「**みにくいあひるのこ**」「**おやゆびひめ**」「**はだかの王さま**」 などなど ～



童話と言うと、私はまずグリム、そしてアンデルセンが思い浮かびます。グリム兄弟の方がかなり年上ではありますが活躍した時代も重なっており、ドイツとデンマークとさほど遠くない、となると・・・そう、グリム兄弟とアンデルセンは、何度も交流する仲だったとか。しかし、その形態は全く違います。グリム童話はドイツに伝わる民話を収集・採録したのですが、アンデルセン童話は最初から子ども向けに創作されたものです。ハッピーエンドが多いグリムのお話と比べて、ラストがもの悲しく考えさせられる作品が多いアンデルセンのお話。どうぞ、読み比べてみてください。



## 今月の本棚…「深まる秋を感じる絵本」



「**もりのかくれんぼう**」「**14ひきのやまいも**」「**モチモチの木**」「**やまなしもぎ**」「**さんねん峠**」 などなど ～

林明子さんの「**もりのかくれんぼう**」は、黄金色に輝く秋の景色がとても素敵です。その森の中に溶け込むように上手に隠れている森の生き物たち、その表情もとても優しく何度読み返したくなる絵本です。

「**14ひきのやまいも**」も、秋の自然にあふれています。実際に山芋が埋まっているところに行かないとまず出会うことがない「むかご」も登場します。山芋のつるにできる小さな球芽で、山芋の赤ちゃんと言われています。ゆがくとホクホクして素朴な味がしますが、食べたことがある方は少ないかも。

大家族の楽しさ・温かさと共に、自然の素晴らしさが伝わってくる絵本です。



## ほっとフライク

10月末に全館貸し切り・駐車場にはテントとステージ設置という大きなイベントがありました。前日その準備の為にスタッフの方が8名来られ、カフェにも立ち寄っていただきました。ちょうどお昼時だったので、みなさんお食事をされたのですが・・・。ピザ2枚、カレー7杯、しかもご飯は大盛のみならず特盛(普段の倍の量)希望もありで、KiKi スタッフのNさんと2人、ヒェ〜〜ッ!!という感じで対応しました。しっかりカレーを食べた後、飲み物だけでなくピザやマフィンを追加注文された方も・・・。若い方が多かったということもありますが、その見事な食べっぷりに感心しました。



やはり食事は元気の源、見ているだけでこっちまで力が湧いてくるようなみなさんでした。3日間にわたるそのイベントは、お天気にも恵まれて大盛況に終わったということです。みなさま、お疲れさまでした。!(^^)!